

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日	2024年3月31日	事業所名	ひばりキッズジュニア 鞍手いちょう
-----	------------	------	-------------------

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動によっては遊戯室・園庭を活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			定められた基準を満たす職員配置に加えてプラス1名の職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		バリアフリーではありませんが、職員の介助で現在は支障が出ることはありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○		日々成長していく中で追いついていないかもしれませんが、現状で活動に合わせた環境づくりは心がけています。(クラス内の午睡スペースかつどうスペースの位置変更・カラーマットの色分け等)	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			短時間でも時間を設けて職員がPDCAサイクルに参画するように心がけています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート回収後、会議を開き意見交換の場と事業所として取り組む課題と改善策を周知するようにしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				ホームページで公表していますが、見られていない保護者の方もおられますので、送迎時や面談時に見て頂けるように取り組んでいます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者評価は行っていませんが、アンケート回収後に会議を開き改善点の周知と業務改善すべき点を話し合い、実行するように努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社内研修や社外研修に参加しています。支援方法などの疑問点などは事業所内で話し合うことや、ベストグループ内でアドバイスを受けてより良い支援を提供出来るように取り組んでいます	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			アセスメントツールを使用し、年に2回アセスメントを行い個別支援計画に反映させています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			使用しています。またビジョントレーニング用のアセスメント等も必要に応じて行い、状況把握が出来やすいように取り組んでいます。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				地域支援に関してはまだ不十分だと感じていますので今後取り組んでいきたいと考えています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			現状の課題点と次にクリアすべき課題点を考えながら支援計画に沿って支援を行うように心がけています。毎日週案にその日課題に対しての変化があれば記入しております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			クラス内で検討し立案しています。また、放課後クラスの職員の意見も取り入れ就学に向けての活動の立案を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			クラス担当職員が作成した後、管理者が月案を確認し、固定化しないようにしています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成して いる	○			集団活動以外に個別活動が主な児童が 多いので、課題点をスモールステップ でクリアしていけるように支援計画を 立案しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認 している	○			朝礼時に行っています。その日のリー ダー・サブ・フリーの職員を日替わり 交代して日々の活動を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点 等を共有している	○			極力行う様にしていますが、送迎の関 係で困難な場合は翌日の朝礼時に行う ようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげている	○			週案にその日の様子や新たに見えた課 題点や改善された点を記入し、モニタ リングに生かすようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計 画の見直しの必要性を判断している	○			月末ごとにその月での目標に対しての 評価を行い、個別支援計画の目標達成 の場合には相談員の方に連絡し、サー ビス等利用計画書の変更をお願いして います。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画している	○			管理者や児童発達支援管理責任者のほ か、クラスの担当の職員が参画してい ます。必要に応じて社内のアドバイザー の職員にも同席して頂き会議を行う こともあります。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関 係機関と連携した支援を行っている	○			役場や児童相談所の方と定期的に電話 で情報共有を行なっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の ある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の 関係機関と連携した支援を行っている	○			併用事業所と情報共有と支援内容確認 のため会議を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の ある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を 整えている	○			医師からの支持書を頂いたり、事業所 での児童の様子を文書にしてお渡しす など情報提供等も行っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援 内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			会議を開いてもらうように相談員の方 に提案し、情報共有が出来るように取 り組んでいます。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学 部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理 解を図っている	○			会議を開いてもらうように相談員の方 に提案し、情報共有が出来るように取 り組んでいます。日時調整が困難な時 には事業所での様子を書面にして渡し ています。また見学に行かせて頂いたり しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業 所、発達障害者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けている	○			研修棟には出来る限り参加をするよ うにしています。参加できない時には聞 きたいことをメールで送り回答をもら うようにしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある			○		現在は行えていませんが、今後交流が 出来るように地域の子ども食堂が開か れる際には外出計画を立てていくよ うにしています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども ・子育て会議等へ積極的に参加している			○		参加が出来ていないので情報を集め、 参加出来るように取り組んでいきます 。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を持 っている	○			連絡帳や送迎時の伝達のほか、電話等 でやり取りを行っています。状況に応 じてご自宅訪問やベストグループ内 での別サービスの提案等も行ってい ます。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ ーニング等)の支援を行っている	○			お家で対応が困難な状況の時の支援方 法等をお伝えしています。必要に応じ て絵カードを貸し出しも行っていま す。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			支援内容は専門用語を使わず、わかりやすい言葉で伝えるように気をつけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ADLの向上を基本とし、5領域に基づいた計画作成を心がけています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			ご家庭での困り事など相談時はどう対応するか、絵カードやご褒美シールの活用方法など提案し、ご家族の負担軽減と事業所と統一した支援が行えるように取り組んでいます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		現在は父母の会等は行っていませんが、年末の餅つきなど行事が再開出来れば保護者の方も参加できるように計画していきたいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			可能な限り申し入れの対応を行なうようにしています。相談については事業所ではできないことに関してはグループ会社のサービスの提案を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		月案やお手紙で行事をお伝えしています。	会報(クラスだより等)は発行できていないので、業務改善を行い発行できるように取り組んでいきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			保護者の方から情報を伝えてほしくない身内の方などに関して事前にお聞きし、些細な事でも情報を伝ええないよう周知しています。固定電話に母親以外への対応はしないなど、付箋を貼って誰でも同じ対応が出来るようにしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			口頭だけでは伝わりづらいことがあるので、紙に書いて視覚と聴覚の二つを使って説明するように取り組んでいます。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		今後計画し行っていきたいと考えています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			毎年最低2回は行っています。事業所内で消防車や救急車を展示してもらい、避難訓練と見学会を開催しました。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			利用予定表に病院受診日などを記入してもらっています。薬に関しては連絡帳に服薬の有無を記入する用紙を貼り、保護者に記入して頂き、クラス入り口の所に児童の顔写真付きの薬入れを作り、飲ませ忘れがないように工夫しています。てんかん発作に関してはてんかんかどうか分かりずらいもの(目を閉じて数秒動きが止まる等)も観察記録を取るようにしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			診断書の提出をしていただいています。また、ご家庭で口にしていてもアレルギー反応が出た食材に関しては事業所では除去させていただきます。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				ヒヤリハットの記入は行っていますがよりヒヤリハット報告をあげ、対策していくことで事故が起らないように日々の支援を行ってまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			会社での研修に加えて事業所内でもアンケート・職員の聞き取りを行なっています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在身体拘束を行わないように個々にあった強化子を活用しています。新規利用の方には会議で多動性等で生命の危険の可能性がある時には一時的に行う事の手承を得て、個別支援計画の中に記載させていただきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

事業所名	ひばりキッズジュニア 鞍手いちょう
公表日	2024年3月31日

保護者等数／児童数	15/17
回答数 [割合 %]	14 [93.3 %]

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	13			1	クラス内でのクールダウンができるスペースはありますが声は聞こえてしまう為落ち着けない状況にあるかもしれません。別室の面談室をクールダウンの部屋として使用しており、状況に応じて使用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	6	3		5	土曜日の営業を再開してほしい。 言語聴覚士等の配置を非常勤でも行って欲しい。 土曜日の営業に関しては職員配置の問題でまだ目途が立っていません。再開が決まり次第お知らせいたします。 言語聴覚士の配置は難しいですが、発語を促す療育を心がけています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2		3	元々町内の保育園だった建物を使用していますのでバリアフリーではない箇所もあります。そこは職員が支援し、カバーできるところは行っております。今後必要があれば弊社の方と検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	2		3	内親までは見れていないのでわかりません。 活動の様子など時間があれば見に来られてください。また、お迎え時にクラスの見学をして頂いて大丈夫です。
適切な 支援 の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	12	2			ニーズと課題を分析し、事業所で出来る支援内容を作成しております。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	2		3	ガイドラインと児童の課題を照らし合わせた支援計画書の作成を行っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	1		1	現状の課題点と次にクリアすべき課題点を考えながら支援計画に沿って支援を行うように心がけています。毎日週案にその日課題に対しての変化があれば記入しております。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	10			4	クラス内で検討し、立案しています。また、方かほクラスの職員の意見も取り入れ就学に向けての活動の立案を行っています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	1	9	保育園に週3日行っているのだから出てくるかと思えます。 交流していないので分かりません。
保護 者 へ の 説 明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	13	1			丁寧な説明を心掛けていますが至らない所もあるかと思えます。不明な点は聞いて頂けると幸いです。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	11	2		1	詳しい説明を心掛けていますが不十分な所もあるかと思えます。担当者会議の時などで説明をしていけたらと考えています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	4	4	1	5	個々出の相談に関してのアドバイス等は行っていますがグループでのペアレントトレーニングは行っていません。必要に応じて検討していきたいと思えます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	2		1	滞りの送迎時に一日の出来事、体調の事を職員皆さんで共有出来ている。 職員に周知し、活動以外の様子もお伝え出来るように改善いたします。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	10	2	2		今の所まだだと思えます。 感染症の対策で事業所での面談が出来ていませんでした。今後面談の再開を検討しております。育児に関してお困りのことがあればご相談下さい。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	2	6	5	行事をもっとしてほしい。 他の保護者と会う事がまだないので分かりません。 感染症での行動制限もなくなりましたので今後外出や行事を含めた活動を立案していきます。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	10	2		2	適切に対応してくれそうです。 事業所として出来る限りの事をさせていただきます。ご希望にそえない場合もございますのでご了承ください。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	11	2		1	連絡帳でのメッセージのやり取りをしっかりとしてほしい。(送迎等で先生方とあまり会う事が出来ない為)	保護者の方が連絡帳に書いていただいたことに対して必ず返事をし、口頭でも伝える様に周知いたします。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	8	2	1	3	活動などの様子を見たい。	見学に来られるのは大丈夫ですので職員にお声かけください。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	11			3		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	7	1		6	利用日の関係で訓練に参加していないと思います。	緊急対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等ございますが周知・説明が出来ておりませんでした。今後どのように周知・説明をしていくか検討していきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	9			5	利用日の関係で訓練に参加していないと思います。	年2回避難訓練と防災訓練を行っています。月の活動予定にも記載されますのでご確認を宜しくお願い致します。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	11	1	1	1	すごく楽しんで通所しています。	楽しいと思える活動の中に療育を取り入れ、課題点が改善出来るように努めています。
	23 事業所の支援に満足している	13	1			今の所満足です。	今後もより良い支援・療育を行えるように努めていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。